

義務教育学校・協和地区準備委員会 第1回PTA部会議事要旨

■開催日時 令和7年7月11日（金）午後7時15分～午後8時10分

■開催場所 協和コミュニティセンター

■出席者 PTA部会委員16名（欠席1名）

【教育委員会】事務局職員（義務教育学校整備課）

■会議経過（概要）

1 挨拶【兼村副委員長】

2 自己紹介

3 部会長及び副部会長の選任

互選により、下記のとおり決定。

・部会長：兼村 匡人 委員（準備委員会副委員長・協和中学校PTA）

・副部会長：久下 典子 委員（新治小学校長）

4 議 事

（1）PTA部会の検討スケジュール（案）について【事務局】

幹事会で承認された各専門部会の検討事項及びスケジュールに基づいて、PTA部会の検討スケジュール（案）を作成した。

PTA部会の検討としては、『通学方法（スクールバス）について』4回、『通学路について』3回、『制服（体操服）について』4回を予定している。現時点での案であり、検討状況に応じて回数等は変更することもある。

⇒質疑なし、委員承認

（2）通学の方法（スクールバス）の現況について【事務局】

これから検討を始めるにあたって、まず、現在筑西市で運行しているスクールバスの状況について、情報共有を図りたい。

■筑西市スクールバスの運行に関する条例・施行規則で定められている事項

①バス運行校	・下館中学校 ・明野五葉学園（前期課程）
②利用対象者	下記のいずれかに該当するものであってスクールバスの乗降場所において自ら乗降できる児童生徒。 ・バス運行校に通学し、規則で定める区域(注)に居住するもの ・そのほか、市長が特別の理由があると認めるもの (注)規則で定める区域 下館中学校：旧下館北中学校区域、明野五葉学園：旧明野町区域
③乗降場所	学校からの距離が、小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）の場合は約3km、中学校の場合は約6km以上の場所に設置。

④保護者負担金	1人当たり月額2,000円 ※登校のみ又は下校のみ利用の場合、月額1,000円。 ※兄弟姉妹で利用の場合、2人目は半額・3人目以降は無料。
⑤保護者負担金の減免	・就学援助を受けているとき。 ・けがや疾病等の事由により1か月の半分以上スクールバスを利用しなかったとき。(全額又は半額) ・そのほか、市長が相当の理由があると認めるとき。

■明野五葉学園の通学状況について

	通学方法
前期課程	徒歩(通学班)、スクールバス、その他(送迎等)
後期課程	自転車、その他(送迎等)

■明野五葉学園のスクールバスの状況について

①利用児童数	367 人（うち、登校のみ 118 人・下校のみ 7 人） ※前期課程全児童の約 61.5%	
②乗降所	23 か所	
③バス台数	20 台	
④運行ルート	登校	20 ルート
	下校（一斉下校）	20 ルート
	※その他、学年別下校に合わせたルート。	
⑤その他	・児童の安全対策（バス置き去り防止）として、バス乗降確認システム「QRだれドコ」を導入。	

<質疑応答>

Q： 条例・施行規則には、通学時に事故があった場合の責任の所在や補償について規定されていない。【委員】

A： 条例・施行規則では規定していない。今回は資料を用意していないので、次回までに確認する。【事務局】

Q： バスがどのように運行されるのか、安全対策がどのようになるのかわからない。スクールバスでの登下校が安全かわからないのに、もう乗降場所を決めようというのは話を進め過ぎではないか？【委員】

A： 安全対策の一つとして、明野五葉学園では「QRだれドコ」というシステムを導入している。このシステムは、児童が持つバス利用カードに記載されたQRコードをバスの乗車・降車時に、バスに備え付けたバーコードリーダーで読み取ることで、児童の乗降状況をリアルタイムに把握できるものである。バス乗降時(QR読取時)に保護者にメールが届くようにもできる。これから乗降場所を決めていくとともに、通学時の安全対策についても検討を進めていきたいと考えている。【事務局】

Q： 乗降場所はこのPTA部会の委員で決めるということか？【委員】

A： お見込みのとおり。次回の会議で、協和中学校を中心とした協和地区の地図を用意するので、それを見ながら委員の皆さんで協議し、乗降場所の候補地を選定したい。【事務局】

Q： 保護者負担金について、兄弟姉妹が同時に利用している場合は減免があるが、利用の有無にかかわらず兄弟姉妹がいる家庭も減免とする方が、子育て支援としてはより良いのではと思う？【委員】

A： 現在は、兄弟姉妹が利用している場合に限っている。【事務局】

Q： 交通状況等により、スクールバスの到着が大幅遅れるようなことはこれまであったか？あった場合、保護者への連絡システムはあるのか？【委員】

A： 交通状況によって、到着が遅れた事例は事務局では把握していない。専用のシステムはないが、運行時に問題があった際は、運転手が学校に連絡することになっているので、必要に応じて学校からマチコミ等の連絡ツールにより保護者へ連絡しているのではないかと思います。【事務局】

Q： スクールバスが運行されると、協和中周辺の道路がこれまで以上に混雑し、近隣住民への影響が心配である。近隣住民への周知等を行うのか？【委員】

A： これからの設計でスクールバスの動線等も決まっていく。なるべく近隣の迷惑にならないように配慮するが、具体的に決まった段階で、場合によっては、近隣住民への説明も必要と考える。【事務局】

Q： 現状の自転車通学の中学生に加えて、バス・徒歩通学の小学生、車での送迎もいるとなると、学校周辺の道路が混みあって危険にはならないか？雨天時は送迎が多く、今でも学校周辺は渋滞している。

A： 自転車、バス、徒歩、送迎の動線は分けるような設計を考えている。周辺の交通状況も考慮して進めていきたい。【事務局】

Q： 通学保険は今までどおり入る必要があるか？【委員】

A： スクールバス通学となっても、基本的に家から乗降場所までは徒歩で通学することになる。おそらく今までどおり入っていただくものかと思う。【事務局】

Q： 朝の集合時間は何時くらいに設定されているのか？【委員】

A： 明野五葉学園では、一番早い乗降場所が 7:15、他は 7:20～30 の間になるよう設定したようである。（運行開始後に調整を行い、現在は一番早い乗降場所で 7:20、他は 7:30～40 で運行している。）【事務局】

Q： バスルートは登校と下校で同じなのか？朝早く乗る児童は、帰りは早く降りられるのか？【委員】

A： お見込みのとおり。基本的に、登校と下校で同じ順番に乗降場所を回っている。【事務局】

Q： 明野五葉学園のスクールバスは 20 台だが、協和地区での台数の見込みは？【委員】

A： 台数の決定は、乗降場所や利用人数が決まってからになるが、協和地区は明野地区と比べて東西の距離が短く、乗降場所を北部と南部に重点的に設置できるため、明野五葉学園の 20 台よりは少なくできるのではと考えている。【事務局】

Q： 小栗地区は狭い道路が多いので、大きいバスは運行が難しいかもしれない。【委員】

A： そういった道路事情についても、委員の皆さんからご意見をいただいて、バスの大きさやルートを決めていきたい。【事務局】

Q： 保護者負担金の月額 2,000 円は結構高いと思う。無償にはならないのか？【委員】

A： 保護者負担金の有無、金額については、明野地区準備委員会でも相当時間をかけて協議したと聞いている。最終的には、受益者負担という考えから、乗車する児童の保護者にはスクールバス運行費用の一部をご負担いただくということでご理解いただいた。【事務局】

Q： 以前から制服はいらないと思っている。制服は高額なので保護者の負担になる。最近は、ユニクロ制服など安価なものもある。明野地区で実施した制服のアンケートではそういう選択肢もあったのか？【委員】

A： 今回は制服アンケートについての資料は用意していない。次回までに確認する。【事務局】

Q： 明野地区準備委員会では、スクールバスについての検討にかなり時間がかかったとのことだが、協和地区は 4 回で足りるのか？【委員】

A： 明野地区の際は、利用できる児童の要件や学校から乗降場所の距離、負担金額などを一から決める必要があったため、かなり時間をかけて検討していただいた。現在はそれらが条例として定められており、協和地区では、具体的な乗降場所の検討から始めることができるので 4 回とした。検討状況によっては増やすこともある。【事務局】

Q： 直接関係ないかもしれないが、門井の交差点に右左折レーンがあるといい。先日も事故が起きており、交通状況がよくない。【委員】

A： そういった交通や通学路に関する情報や要望があれば、ぜひあげていただきたい。明野地区の際は、職員と準備委員会委員で通学路点検を実施し、危険箇所改善のため、横断歩道設置などの要望書を出した。全ての要望が通るわけではないが、協和地区準備委員会においても、必要に応じて要望を出すことは考えている。【事務局】

5 その他

(1) 次回の会議予定について【事務局説明】

・令和 7 年 11 月頃